

「生き方探究・チャレンジ体験」に参加して

本学図書館では、平成27年11月4日(水)から6日(金)にかけて中学生が社会体験活動に取り組む「生き方探究・チャレンジ体験」に協力し、中学生6名を受け入れました。中学生の体験記が以下に掲載されています。(12頁の関連記事もご覧ください。)



「チャレンジ体験を終えて」

今回、京都外国語大学付属図書館で動かさせていただいても良い経験になりました。図書館での仕事は、決して表に見えていることだけではないということが分かりました。この仕事は協力で成り立っているものだとは知ることができました。

1日目は職員の方に図書館の案内をしていただきました。その中で最も印象に残ったのが、外国語で書かれた書物がたくさんあったことです。私は世界の様々な文化・言語に興味があるので書物を見たとき、とても興奮しました。

2日目はちりめん本の準備を手伝わせていただきました。そして、貴重書であるちりめん本に触らせていただき、明治の文化にふれることができました。本の文章を読んでみると、私たちでも理解できるような英語で書かれているものもありました。元々、歴史を学ぶことは好きなのですが、この展示会の準備で更に好きになりました。

この3日間、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。今回学んだことを今後の生活にも活かしたいです。

(K. I.)



「チャレンジ体験を終えての感想」

3日間という短い期間でしたが、内容の詰まった体験を京都外国語大学付属図書館でさせていただきありがとうございました。

1日目は、図書館の中を案内していただくことから始まりました。とても広く、いままでに見たことのない

いくらの本の数で60万冊もあると知った時はすごく驚きました。様々な言語の本があってさすが外国語大学だなと思いました。その後は、蔵書印押しや重複の確認などをやらせていただきました。まったくわからなかった私に職員の方々はとてもやさしく丁寧に教えて下さったのでうれしかったです。本のページをうまく広げて真ん中にハンコを押したり、1ケタも間違えずに数字をパソコンに入力していくのは難しかったけれど慣れていくと楽しく、良い経験になりました。

2日目は、本の貸し出しや返却の作業、展示会の準備を体験させていただきました。今までは借りたり、返したりする側だったけれど逆の立場の大変さや仕事の多さが知れて良かったです。そして、展示会の準備では今ではめずらしく貴重なお話を、くわしく聞かせていただくことができて感動しました。

最終日は、図書館で本の貸し出しや返却の他に、本を探したり元の場所に戻したりといった作業をしました。ラベルの数字やアルファベットを見て正確に場所に戻したり、探したりする作業は今後に生かしていこうと思います。そして展示会では、沢山の人が見に来て下さったのでとてもうれしかったです。待ち時間に自分達も見ることが出来たので良かったです。3日間本当にお世話になりました。

(H. I.)

「チャレンジ体験を終えて」

今回、3日間京都外国語大学の図書館で動かしてもらいました。1日目は図書館概要説明と見学、発注・受入業務をして発注した本が図書館に置かれるまでに本にハンコを押してそして初めてここの図書館に置かれるのを初めて知りました。そして2日目は閲覧業務、外大で行われる展示会の準備をしてちりめん本という和紙を縮めて作られそれを外国語にした本にふれました。なかなかない体験だったのでとても良かったです。閲覧業務ではカウンターで本の貸出をして不安だったけどやってみると楽しかったのでこれも良い体験ができたんじゃないかと思います。最終日の3日目は稀観書展示会で受付をやって品格の大事さを学びました。大学生の方々の手本を真似てやってやっぱり大学生にもなるとすごいなと感じさせられました。